

第2回福島県県北・相双方部ソーシャルワーカーデー

ソーシャルワーカーデー？海はすべてを包み込み、生命を生み出す母胎であり、力強さにあふれていることから、海の日をソーシャルワーカーに対する関心と理解を拡げるソーシャルワーカーデーとしました。

基調講演「ソーシャルワーカーの価値とジレンマ」
昭和女子大学 人間社会学部 福祉社会学科
教授 高橋学 氏

福祉医療職にとって大切なことは、「人と社会」を理解することだと思います。「相手と向き合うこと」「自分と向き合うこと」「障がいや病を持って生きるこの意味を考える」「社会の矛盾を解明すること」などをキーワードと一緒に考えましょう。

論文「胃瘻を増設しない選択を代理決定した高齢患者の家族の意思決定プロセスに関する研究（共著）」
著書「医療福祉入門（共著）」等



ソーシャルワーカーの 価値とジレンマ

Zoom開催

ソーシャルワーカーデーを通じて価値感を共有し、関係性を作りましょう！

参加対象

県北・相双方部の医療ソーシャルワーカー、精神保健福祉士、社会福祉士、スクールソーシャルワーカー、コミュニティーソーシャルワーカー、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員、相談支援事業所職員、福祉施設職員、社会福祉協議会職員、県・市町村行政、医療・福祉関係職員等

2022年7月10日(日) 参加費 1,000円
13:00～16:40 ※ブレイクアウトセッション 不参加の場合16:00迄
定員 100名
※定員なり次第締切ます。

基調
講演

「ソーシャルワーカーの価値とジレンマ」

昭和女子大学 高橋学 氏

シンポ
ジウム

<発表者>

医療法人慈心会 村上病院 宝木美里氏（精神保健福祉士）

伊達市健康福祉部社会福祉課障がい福祉係 齊藤文夏氏（社会福祉士）

医療生協わたり病院医療介護相談室 渡邊浩太氏（医療ソーシャルワーカー）

主催 福島県医療ソーシャルワーカー協会県北方部
福島県精神保健福祉士会県北・相双方部
福島県社会福祉士会県北方部